

平成26年10月27日

## 地域経済産業調査（平成26年7-9月期）結果

### 〈全体の動向〉

今期（7-9月期）の近畿経済は、改善の動きがみられるものの、一部に足踏み状態である。

生産は、家電や軽自動車等が消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響がみられ、加えて家電は今夏の天候不順の影響も受け、総じて横ばい傾向である。

設備投資は、全産業において持ち直してきており、大企業では新規事業立ち上げや生産増強、中小製造業では老朽設備の更新、自動化等による省エネ・生産性向上の取組み、非製造業では物流施設、新規出店等への投資意欲がみられる。

雇用は、業況が改善してきている自動車関連や非製造業等で人手不足の状況がみられ、求人しても応募がない、新規採用は難しくなるといった声が引き続き聞かれた。また、新事業展開のためのグローバル人材を求める動きがみられる。

個人消費は、天候不順等の影響もあり、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動からの回復は当初の想定よりも遅れているが、日常消費する商品や高額商品等の消費は既に以前の水準を取り戻している。

### 〈個別の動向〉

- （1）生産：横ばい傾向。
- （2）設備投資：持ち直している。
- （3）雇用情勢：緩やかに改善しており、人手不足感が広がりつつある。
- （4）個人消費：一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。

### 〈これまでの基調判断の推移〉

	平成25年7-9月	平成25年10-12月	平成26年1-3月	平成26年4-6月	平成26年7-9月
全国	→	↗	→	↘	→
	緩やかに持ち直している	持ち直している	持ち直している	消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響等により一部に弱い動きがみられるが、持ち直しが続いている	一部に弱い動きがみられるが、持ち直しが続いている
近畿	→	↗	→	↗	↘
	持ち直している	着実に持ち直している	着実に持ち直している	改善の動きが見られる	改善の動きがみられるものの、一部に足踏み状態

（参考）今回、本調査の対象機関（88）、実施期間（平成26年9月2日～9月26日）

本件のお問い合わせ先)

近畿経済産業局総務企画部調査課長 尾仲

担当：奥田、小谷 電話：06-6966-6004

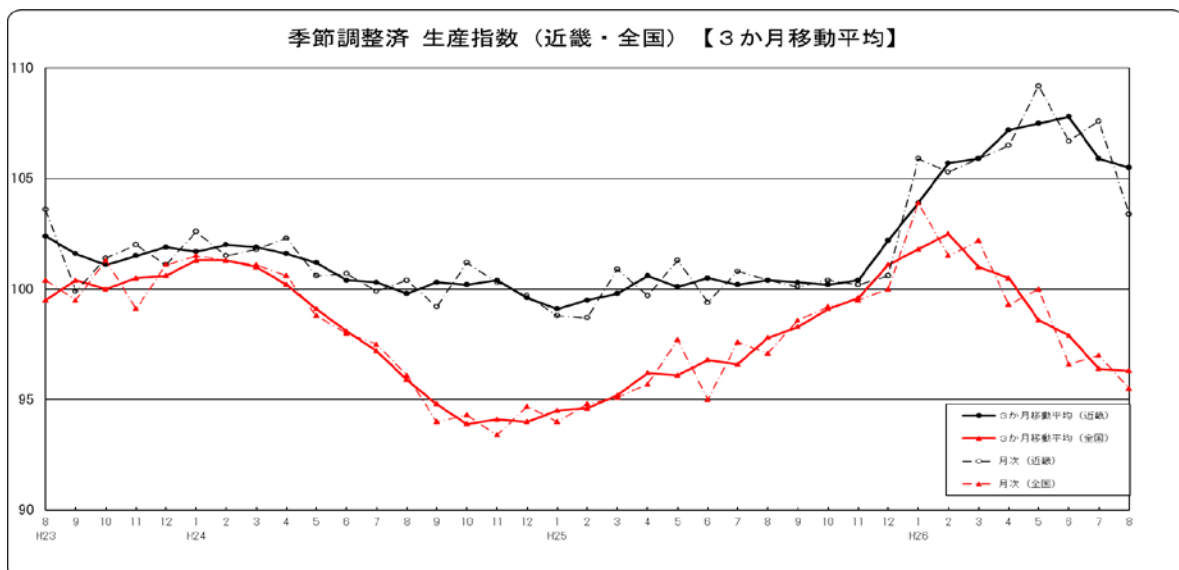
## 生産 ～横ばい傾向～

電子部品、太陽電池、北米等海外自動車向けの部品等は好調を維持しているものの、家電や軽自動車等は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が引き続きみられ、加えて家電は今夏の天候不順の影響も受け、生産は総じて横ばいで推移している。

先行きについては、電子部品、海外自動車向け部品等を中心に好調な状況が継続するとともに、消費税率引上げ等による影響を受けた家電、軽自動車からも回復傾向にあるとの声が聞かれた。

### 【企業の生の声】

- 自動車関連は全般に堅調で消費税増税の影響も少ない。先行きも良い。【非鉄金属】
- 高水準で横ばい。要因としては、取り扱うアイテムの入れ替えを行い、海外大手からの受注に頼っていた体制を見直し、他企業への受注にも仕掛けていった。一部はフル稼働しても追いつかない。【ゴム製品】（中小）
- 全体の生産は、8割以上からフル稼働の状況。ソーラーの生産はフル稼働。先の需要を見込んで在庫をため込んでいる。【電子部品・デバイス】
- △生産、出荷については、前期と比べると夏季休暇の関係で減、前年同期と比べると国内の自動車メーカー向けの販売量が増えているため若干増。【鉄鋼】
- △当期の生産はほぼ横ばいという印象。国内工場はほぼフル稼働。リーマンショック時を100とすると、現在は90程度。【鉄鋼】
- △エアコン、冷蔵庫を中心とした白物家電は冷夏の影響を受け、生産水準を低く調整。生産は遅くとも本年度中には戻るとの見込み。【電気機器】
- △個別受注体制をとっており、生産、出荷については、前期比は横ばいか多少悪く、前年同期比は増加している。【生産用機械器具】（中小）
- ×今期の国内での生産計画は前年実績より下回る。要因は前年が猛暑であり生産が拡大していたことと、昨年度末から消費税増税前の駆け込み需要があり、大きく増産が発生したため。今夏の天候不順の影響も反映すると、さらに計画に対して生産減が発生する見込み。在庫についても、足下での天候影響により、だぶついているが、生産調整を実施することにより段階的に解消する見込み。【電気機器】



(注) 近畿・全国：平成22年基準（平成22年＝100）

データ出所：近畿経済産業局「近畿地域鉱工業生産動向」

## 設備投資 ～持ち直している～

全産業において設備投資が持ち直してきており、大企業を中心に新規事業立ち上げや生産増強を目的とした投資が行われている。また、中小製造業では老朽設備の更新、自動化等による省エネ・生産性向上対策や新規事業への取り組みがみられ、非製造業では業況をみながら物流施設、新規出店等への投資意欲がみられる。

### 【企業の生の声】

- 生産ラインの増強や省エネ設備への更新などを予定している。新たな生産工場を着工予定。【電子部品・デバイス】
- 市場の成長が著しい新興国や省エネ分野等を中心に積極的な投資を実行する。【電気機器】
- 医療機器分野への進出を検討しており、新たに研究開発資金を予定。【電子部品・デバイス】(中小)
- 昨年より機器の更新を行ってきており生産能力が3割向上。今期も引き続き更新を予定している。この期に行わなければ生産性が確保出来なくなってしまう。【繊維工業】(中小)
- ものづくり補助金が採択されたこともあり、設備等については近々導入へ向けて動き出す予定。維持、補修、省エネを中心に進めていく予定。【鉄鋼】(中小)
- △ものづくり補助金が採択され、新しい成形機を導入することと、新規受注のプラスチック代替品製造のため、トレンドとしては積極的に行っているが、昨年度が非常に多かったため額としては減少。【プラスチック製品】(中小)
- ×今後消費税の動向をみて出店するが、例年より少ないのではないかと。免税店としての許可が下りたところを優先的にリニューアルしていく予定。【各種小売業】
- ×物流倉庫に隣接してもう一棟倉庫の着工を予定していたが、業況をみて先送りすることとした。【その他卸売業】(中小)

## 全国企業短期経済観測調査

(前年度(前年同期)比:%)

前年度 (前年同期)比	近 畿						全 国					
	2013年度			2014年度 (計画)			2013年度			2014年度 (計画)		
	上期	下期	上期(見込み)	下期(計画)	上期	下期	上期(見込み)	下期(計画)				
全産業	0.3	▲ 6.1	5.8	12.9	28.8	0.8	5.6	5.2	5.9	4.2	10.8	▲ 1.2
製造業	▲ 5.1	▲ 12.9	2.5	11.1	15.6	7.5	0.5	▲ 4.6	5.2	11.8	19.6	5.4
大企業	▲ 5.0	▲ 11.8	1.5	11.5	14.7	8.8	▲ 1.4	▲ 8.4	5.2	13.4	21.1	7.3
中堅企業	▲ 12.9	▲ 38.3	15.9	10.6	49.4	▲ 12.7	▲ 3.6	▲ 10.2	2.5	19.2	23.3	15.9
中小企業	17.7	20.8	14.7	▲ 0.7	▲ 9.4	8.2	13.9	20.9	8.2	▲ 1.6	11.1	▲ 13.2
非製造業	3.9	▲ 1.0	7.8	14.0	37.5	▲ 3.1	8.2	10.7	6.3	0.5	6.5	▲ 4.4
大企業	3.4	▲ 2.4	8.0	14.8	40.6	▲ 3.5	4.4	6.1	3.1	6.3	13.4	0.8
中堅企業	12.4	16.7	8.7	2.9	4.9	1.1	8.0	10.1	6.2	▲ 2.5	▲ 0.4	▲ 4.4
中小企業	▲ 3.3	▲ 0.6	▲ 5.6	18.8	38.8	0.1	24.5	30.2	19.9	▲ 18.0	▲ 11.0	▲ 24.0

データ出所: 日本銀行(含む 土地投資額)

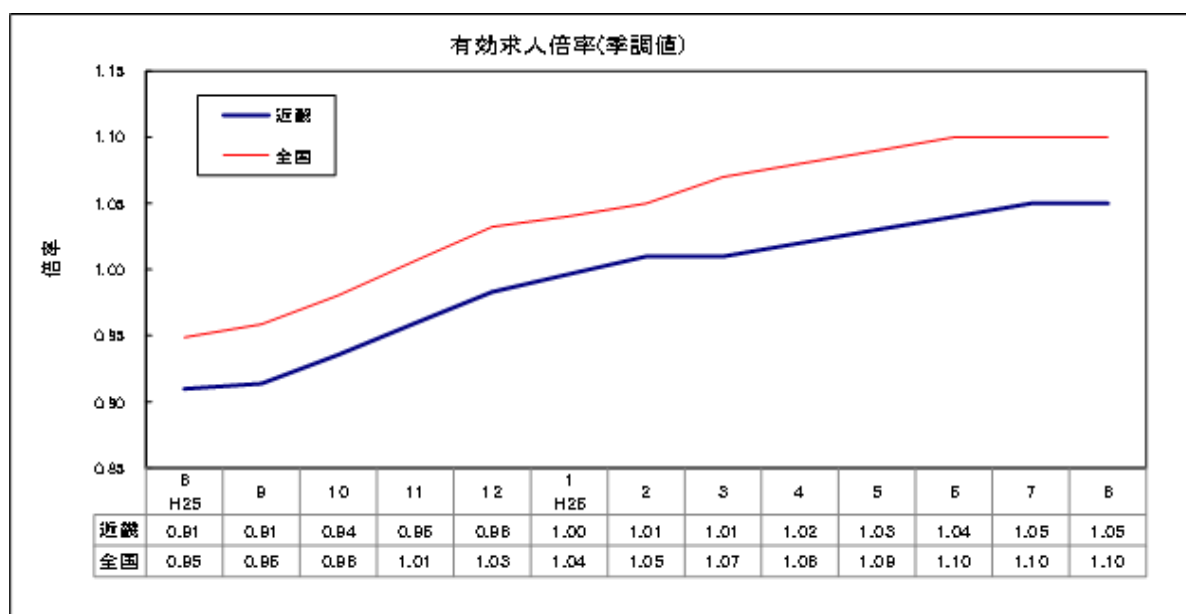
(大企業: 資本金10億円以上、中堅企業: 同1億円~10億円未満、中小企業: 同2千万円~1億円未満) 2014/10/1公表

## 雇用情勢 ～緩やかに改善しており、人手不足感が広がりつつある～

業況が改善してきている自動車関連や非製造業等で人手不足の状況がみられ、求人しても応募がない、新規採用は難しくなるといった声が引き続き聞かれた。社員、パートなどの増員がみられ、パートや派遣社員から正社員へ採用する動きも出ている。また、有資格者・技術者の中途採用や新事業展開のためのグローバル人材を求める動きが引き続きみられた。

### 【企業の生の声】

- ・製造部門では高操業が続き、一般的に人員不足の状態。景気が改善傾向にあり、全国的に派遣の求人難が発生している影響で、一般部門では派遣社員の確保も難しい状況。【非鉄金属】
- ・新規出店に伴い、パート等を募集するが思うようには集まらない。閉鎖店や周辺店の元従業員を採用などで補っているが、若干足りていない状況。【各種小売業】
- ・北米自動車向け生産のために、北米工場と国内工場に不足感がある。国内は正規社員の残業だけでは対処できないため、期間工を雇用することで補っている。期間工に対しては就労意欲向上のために技能士の資格取得を促しており、更に一定の条件を満たした者は正職員として雇用することとしている。【はん用機械器具】
- ・複数名の派遣社員を正規社員にした。【ゴム製品】（中小）
- ・派遣社員が同一業務で一定期間勤務すると、本人の意向を聞いた上で正社員として雇用している。【生産用機械器具】（中小）
- ・新規分野に進出するにあたって必要な技術者を採用するための中途採用や再雇用も引き続き採用。【電子部品・デバイス】
- ・日本人で海外経験のある海外拠点のマネジメント層人材のニーズが高まっている。中国だけでなく、インドネシアやベトナムも多い。【労働者派遣業】
- ・海外での現地生産・現地販売に対応できる人材が不足している。  
【繊維工業】（中小）



データ出所：厚生労働省「一般職業紹介状況」

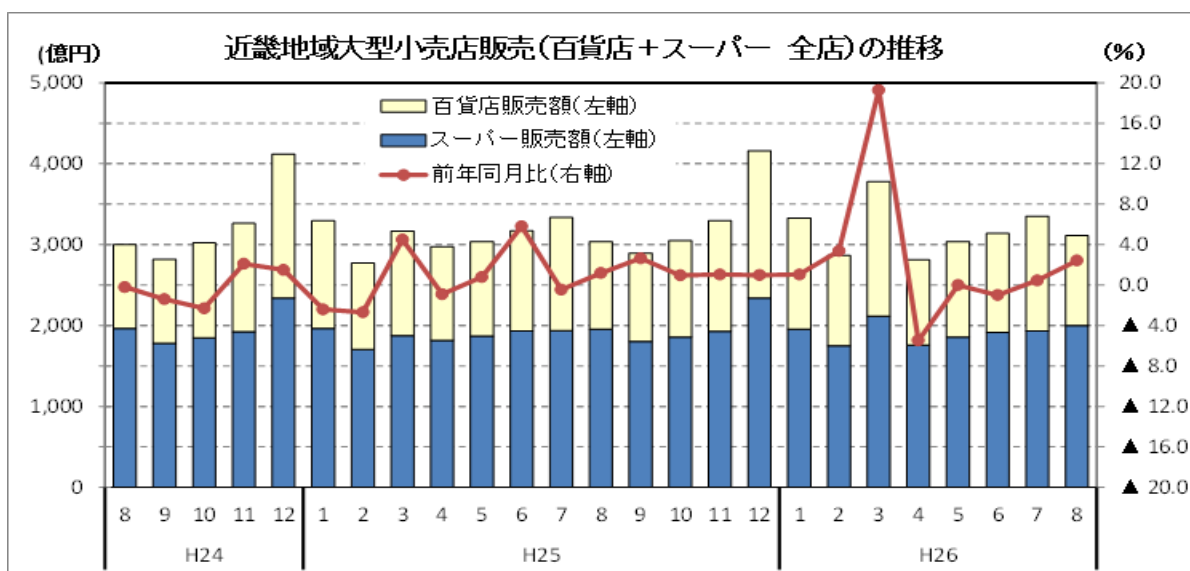
## 個人消費 ～一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している～

天候不順等の影響もあり、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動からの回復は耐久消費財を中心に当初の想定よりも遅れているが、日常消費する商品や高額品等の消費は既に以前の水準を取り戻している。軽自動車は駆け込み需要の受注残の解消等から減少した。なお、引き続き訪日外国人による高額品の購入や宿泊等が増加している。

今後は消費税率引上げの影響からの本格的な回復が見込まれる。

### 【企業の生の声】

- 売上金額、売上数量、販売価格ともに上昇傾向。ジュエリー、高級時計などに一部消費税増税の影響は残っているが、特撰品が戻ってきており、全体的に堅調に推移している。全体的に購買意欲は落ちていない。【各種小売業】
- 消費税の影響は、3－8月通してみるとプラスに働いている。8月は月後半に秋物の正価品が好調となった。特撰品は宝飾品、時計が戻ってきている。ビアガーデンは前年を割り込んだ。雨が降って中止になると食材のロスが大きいので夕方の天気予報を見て営業を控えた日が多かった。【各種小売業】
- 外国人旅行客は増加している。引き続き中国、台湾、マレーシアなどの東南アジア、全体数では少ないもののヨーロッパからも来ている。【その他事業サービス業】
- 夏季多客期は予想を下回ったものの、国際線総旅客数と外国人が牽引する形で、前年を上回っている。日本人旅客については、前年を下回っているものの、マイルドが上向いていると思われる。【運輸サービス業】
- ×今期は4－6月期に比べても悪くなっているが、白物家電は意外と好調。  
【機械器具小売業】
- ×消費税増税の反動影響に加え、天候不順の影響もあり、厳しいものとなっている。今後の見通しについても各地域ともに足元と同様の傾向が続くと見ている。  
【電気機器】
- ×前年同期と比べて全体的に悪化している。受注残も無くなった7－9月期に本来の姿が見えてきたというのが実態である。新車を待った買い控えも少なからず影響しているのではないかと。【輸送用機器】



データ出所：近畿経済産業局「大型小売店販売状況」